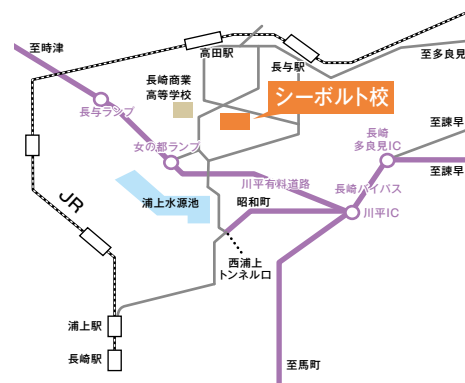


長崎県立大学 UNIVERSITY OF NAGASAKI



お問い合わせ先 長崎県立大学地域連携センター

【佐世保校】〒858-8580 佐世保市川下町123
TEL:0956-47-5856 / FAX:0956-47-8047

【シーボルト校】〒851-2195 西彼杵郡長与町まなび野1-1-1
TEL:095-813-5500 / FAX:095-813-5220

地域連携センター

<https://sun.ac.jp/center/area/>



公式 Facebook

<https://www.facebook.com/sun.Nagasaki>



長崎県立大学 地域連携センター

COOPERATION

The approach of the contribution to society is now one of the big missions of the university.

連携すること、
それは地域に根付くということ。

大学の社会貢献の取り組みは、今や大学の大きな使命のひとつとなっています。

設立目的

地域連携センターは、大学が持つ人的、物的、知的資源や組織などを総合的に活用し、共同研究や学術交流、産学官連携を促進し、また、県民の生涯教育やまちづくりなどに積極的に貢献することにより、県民の健康と福祉の向上、地域産業の振興、新たな文化の創造等に寄与することを目的に設置されました。

ごあいさつ



センター長 笠原 敏彦

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大という危機を受け、日本でも「アフター・コロナ」「ウィズ・コロナ」という言葉で変革の時代が語られています。IT(情報技術)やAI(人工知能)の急速な進歩で社会が激変しつつある中で起こった今回のコロナ危機は、この変革の流れを一気に加速させようとしています。その影響は社会生活の様々な面に及ぶことでしょう。

将来への不透明感が強まる一方で、「人生100年時代」と言われる長寿化社会への対応も待たなしになっています。こうした状況の下では、様々な知恵や経験を共有し、課題に挑戦していく姿勢が一層重要になります。

地域連携センターのミッションは、長崎の「知(地)的ネットワーク」の

拠点として、地域の経済活動や暮らしが少しでも豊かで実り多いものとなるように貢献することです。本学のこの姿勢は、独自のカリキュラム「**長崎のしまに学ぶ**」を平成28年度より全学部の必修科目とし、学生たちが毎年フィールドワークを通して離島の課題に取り組んでいることから御理解いただけるものと思います。

当センターは「開かれた大学」の一翼を担い、様々な専門分野に通じた本学の研究者と地域の人々を有機的につなぐ「窓口」役を果たします。

主な事業分野は、学外機関等との共同・受託研究に関わる「**産学官連携部会**」と、公開講座などの企画・実施を担う「**生涯学習支援部会**」の二つから成ります。

地域のみなさまに幅広く活用していただければ幸いです。

産学官連携部会

- ◎産学官連携に関する事業計画の策定
- ◎学外関係機関等との共同研究・受託研究・学術交流
- ◎学外関係機関等の技術者研修及び研究技術等に関する相談
- ◎大学発ベンチャーに関すること
- ◎知的財産の管理・運用及び発明審査
- ◎自治体、他大学との連携事業の実施、調整等
- ◎その他、産学官連携に関すること

共同研究
プロジェクト研究
技術相談

長崎県立大学 地域連携センター

公開講座
地域公開講座
学術講演会

生涯学習支援部会

- ◎地域住民の生涯学習支援に関する事業計画の策定
- ◎公開講座、地域公開講座、学術講演会の企画・実施
- ◎その他、生涯学習に関すること

産学官連携部会

生涯学習支援部会

連携

長崎県公設 試験研究機関

- ・農林技術開発センター
- ・総合水産試験場
- ・工業技術センター
- ・窯業技術センター
- ・環境保健研究センター

経営学部

経営学科
コーディネーター

国際経営学部

国際経営学科
コーディネーター

地域創造学部

公共政策学科
コーディネーター

実践経済学科
コーディネーター

国際社会学部

国際社会学科
コーディネーター

情報システム学部

情報システム学科
コーディネーター

情報セキュリティ学科
コーディネーター

看護栄養学部

看護学科
コーディネーター

栄養健康学科
コーディネーター

地域連携
センターから
相談者に
担当教員を紹介

産学官連携や
生涯学習に
関するご相談



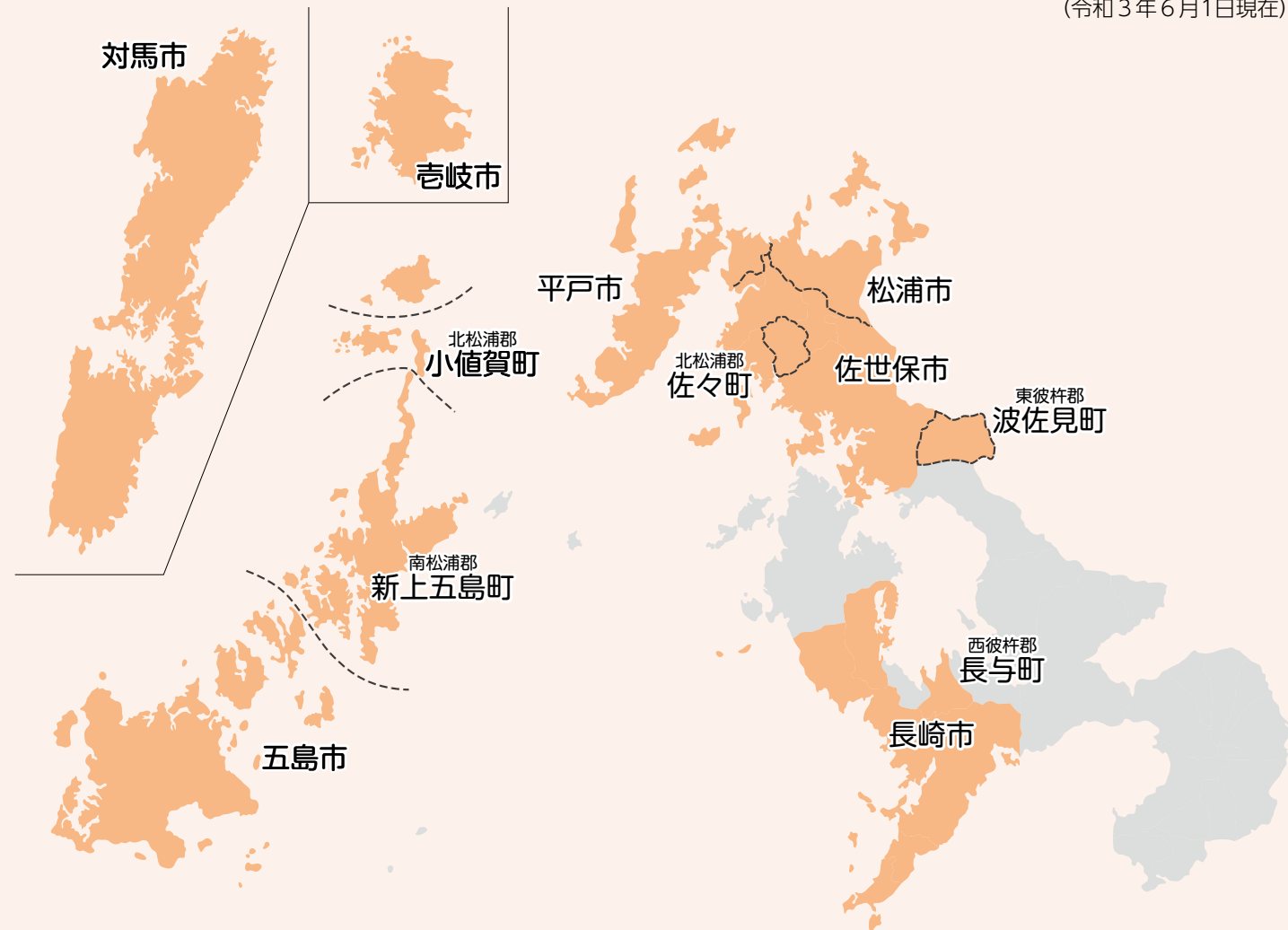
相談者

活動状況 産学官連携活動

県内の自治体と締結した協定に基づき連携事業を実施するとともに、企業や自治体等との共同研究や受託研究に取り組み、特許の取得にいたる等、様々な成果を挙げています。
また、大学のシーズを紹介するため「イノベーション・ジャパン」等の展示会へ応募・出展する等、新たな連携につなげる取り組みを行っています。

▶ 本学と相互協力協定・包括連携協定を締結している市町

(令和3年6月1日現在)



令和2年度 連携事業一例

佐世保市	佐世保市次世代創業者育成プログラムの共同研究 学生と一緒に考え動くプロジェクト2020 佐世保市地域力アップ支援事業 等
長与町	長崎県農産物・加工食品臨床試験コンソーシアム共同研究 小学生プログラミング教育、健康ながよ21推進専門委員会委員就任 シーボルト食堂(年3回開催)、幼児の健康教育(手洗い指導) 等
波佐見町	英語指導力向上事業、グローバル人材の育成事業 等
平戸市	平戸観光応援隊ボランティア
松浦市	道の駅松浦海のふるさと館における新製品開発 松浦市中小企業振興会議 等
佐々町	佐々町まち・ひと・しごと創生総合戦略事業評価・検証委員会 等
長崎市	長崎市における地域活性化・地域課題解決に向けた取組 等
長崎県	映像制作におけるシナリオ駆動型制作手法の開発 構成資産の集落(春日集落)の持続的な維持・発展に係る課題等検証事業

▶ 共同・受託研究

本学では、企業等から研究費を受け入れて大学と企業等と共同で研究を行う共同研究や、企業等の希望する研究課題について大学が委託を受けて研究を行う受託研究など、企業等と連携した研究活動を積極的に行っています。

令和2年度 受託研究一例

- 波佐見グリーンクラフトツーリズム調査研究
- サイバー攻撃手法の分析
- 効果的な特定保健指導プログラム 等

令和2年度 共同研究一例

- 県産品の商品開発におけるマーケティング調査研究
- 長崎交通圏における交通環境の最適化
- フィッシングサイトの早期発見に関する研究
- 微生物・天然資材を用いた製品能力の確認 等

DATA

本学の受託研究(過去3年間の実績)

(単位:件、千円)

H30		R1		R2	
件数	金額	件数	金額	件数	金額
8	5,550	8	4,780	8	12,015

本学の共同研究(過去3年間の実績)

(単位:件、千円)

H30		R1		R2	
件数	金額	件数	金額	件数	金額
28	28,100	30	36,160	27	36,669

▶ 見本市等出展状況

イノベーション・ジャパン2020:Web開催

<https://www.jst.go.jp/tt/fair/ij2020/exhibitor/un20200315.html>



国際社会学科
森田 均 教授

「路面電車網から発展させる統合型インフラSTING」

アグリビジネス創出フェア2020:Web開催

https://agribiz-fair.maff.go.jp/list_detail.php?keyno=29



地域連携センター
田中 一成 特任教授

「長崎県産農林水産物(茶、ビワ、ツバキ、ミカン他)を活用した機能性食品」

▶ 大学が開発に寄与した製品



活動状況 生涯学習支援活動

▶公開講座・学術講演会

本学の有している研究成果を広く公開し、生涯教育の振興に寄与することを目的とし、本学教員による公開講座を行っています。年によってテーマは異なりますが、5学部9学科の多様な専門分野をもつ本学の教員が、皆様に様々な知識を提供いたします。また、学術講演会では、県民の皆様に学習の機会を提供するべく、全国から著名な講師をお招きし、講演会を実施しています。どなたでも御参加いただけますので、皆様の生涯学習に御活用ください。（令和3年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、9月末までの講座をすべて中止しています。10月以降の講座情報につきましては、大学のホームページをご確認ください。）

令和2年度 公開講座一例

新型コロナウイルスの感染拡大防止のためWeb上での動画公開を実施

- 低金利時代に活用したい資産運用手法(実践経済学科)
- 中国都市部における配車アプリケーションサービスの成長経緯(実践経済学科)

以下URLで視聴可能です。

<https://sun.ac.jp/center/area/education/public/r2/>



低金利時代に活用したい資産運用手法



中国都市部における配車アプリケーションサービスの成長経緯

令和2年度 学術講演会

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止

本学教員による「公開講座」に加え、学外から専門性の高い講師を招き「学術講演会」を毎年開催しています。これらは遠隔システムを利用して、佐世保校・シーボルト校のどちらでも受講できます。また、キャンパス外では、自治体等からの御要望に応じて県内各地に教員を派遣する「地域公開講座」を開催しています。

▶地域公開講座

地域の皆様の生涯教育の御要望にお応えするために、本学教員が県内の各市町をはじめとする関係機関および団体施設等に向けて講座を行っています。

講座内容は経済、社会、歴史、文化、語学、国際関係、情報・メディア、医療、看護、栄養と食生活、自然科学、スポーツ・レクリエーションのカテゴリを設けています。

目的に応じて講座を御活用ください。

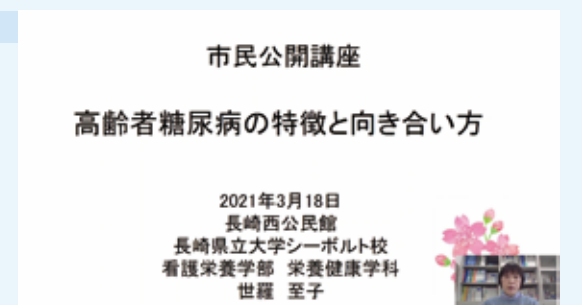
（オンデマンド形式でのオンライン講座を開催しています。詳細は<http://sun.ac.jp/center/area/education/area/>を御覧ください。）

※本学から派遣する講師に対する謝金や旅費は不要です。



令和2年度 地域公開講座一例

- 高齢者糖尿病の特徴と向き合い方(栄養健康学科)



▶シーボルト・カフェ ～生きるを育む～

学生と教職員が地域住民と一緒に「生きるを育む」活動や交流を行うことによって、心と体を充実させる視点からの地域活性化を図る事を目的とし、シーボルト校にて様々な講座を実施しております。

講座の情報は随時ホームページに掲載いたします。

令和2年度 シーボルト・カフェ～生きるを育む～講座一例

- 「シーボルト食堂」(弁当配布)を3回実施(国際社会学科)
- 「小学生プログラミング教室」(情報システム学部)
- 「吃音の自然経過を知る」Web講演会(看護学科)
- 「幼児への健康教育～正しい手洗いで感染予防～」(看護学科)



「シーボルト食堂」(子ども食堂)でのお弁当配布の様子



「吃音の自然経過を知る」Web講演会

DATA

公開講座 (R2はWeb 公開)

年度	H30	R1	R2
開催講座数	18	14	2
参加者数	1,909名	1,110名	230名

学術講演会 (R2は中止)

年度	H30	R1	R2
開催講座数	2	3	—
参加者数	150名	244名	—

地域公開講座 (R2はオンデマンド形式)

年度	H30	R1	R2
開催講座数	113	93	1
参加者数	3,863名	3,674名	5名

特別講演等 (シーボルト・カフェ～生きるを育む～含む)

年度	H30	R1	R2
開催講座数	13	8	9
実施学部等	国際社会2 情システム1 看護栄養3 その他7	経営1 国際社会3 情システム1 看護栄養2 その他1	国際社会3 情システム2 看護栄養1 その他3

新型コロナウイルスの感染拡大防止のためR2は開催形態を変更しています。